

【別冊 5】

# 平成31年登米市議会定例会 2月定期議会 資料

一般会計・特別会計・企業会計  
平成31年度当初予算の概要

平成31年2月1日



## 平成31年度当初予算の概要

### 〔一般会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ470億2,992万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、66億3,737万円、12.4パーセントの減額となっております。

歳入では、一般財源として、市税77億4,237万円、地方交付税179億100万円を見込み、特定財源として国・県支出金80億9,726万円、市債58億4,450万円、さらに、各種特定目的基金から15億706万円を繰り入れし、財源不足分については財政調整基金からの繰入金14億8,692万円を計上しております。

歳出では、未来のまちづくり支援事業1億6,176万円、認定こども園施設整備事業3億7,206万円、(仮称)新クリーンセンター整備事業32億9,079万円、多面的機能支払事業5億9,983万円、企業立地促進事業3億682万円、道路新設改良事業12億8,559万円、市営住宅建替事業1億9,586万円、(仮称)新登米懐古館整備事業3億54万円などを計上しております。

また、継続費2件、債務負担行為38件、地方債34件を計上しております。

### 〔国民健康保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ89億7,516万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1億8,284万円、2.0パーセントの減額となっております。

歳入では、国民健康保険税18億5,311万円、県支出金61億2,830万円などのほか、一般会計繰入金6億6,329万円を計上しております。

歳出では、保険給付費60億9,271万円、国民健康保険事業費納付金25億6,419万円、保健事業費7,897万円などを計上しております。

### 〔後期高齢者医療特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億7,332万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、6,019万円、7.2パーセントの減額となっております。

歳入では、後期高齢者医療保険料5億2,647万円、諸収入1,805万円などのほか、一般会計繰入金2億2,859万円を計上しております。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金7億2,266万円などを計上しております。

### 〔介護保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ100億4,357万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1億4,934万円、1.5パーセントの減額となっております。

歳入では、介護保険料21億722万円、国県支出金39億6,099万円、支払基金交付金25億6,538万円などのほか、一般会計繰入金14億947万円を計上しております。

歳出では、介護サービスなどの保険給付費92億4,303万円、地域支援事業費4億1,572万円、基金積立金1億9,707万円などを計上しております。

### 〔土地取得特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ740万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1億2,967万円、94.6パーセントの減額となっております。

歳入では、宅地造成事業特別会計繰入金734万円などを計上し、歳出では、土地開発基金への繰出金739万円などを計上しております。

### 〔下水道事業特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ44億4,317万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、4億3,907万円、9.0パーセントの減額となっております。

歳入では、使用料及び手数料7億7,782万円、国県支出金1億8,207万円、市債14億4,600万円などのほか、一般会計繰入金19億3,122万円を計上しております。

歳出では、下水道施設整備費6億1,351万円、総務費10億8,814万円、公債費27億2,651万円などを計上しております。

また、債務負担行為4件、地方債3件を計上しております。

### 〔宅地造成事業特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,080万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1億5,718万円、93.6パーセントの減額となっております。

歳入では、財産売却収入1,080万円などを計上し、歳出では、住宅用地造成事業費1,080万円などを計上しております。

### 〔水道事業会計〕

業務の予定量について、給水件数を3万200件、年間総有収水量を778万 $\text{m}^3$ と定め、収益的収入の予定額を25億9,904万円、支出の予定額を26億9,054万円とし、単年度で純損失が1億9,886万円となり、前年度繰越利益剰余金5,051万円により年度末の未処理欠損金は1億4,834万円となるものであります。

営業収益では、前年度より160万円増の22億5,869万円、営業費用については、前年度より1億4,575万円増の24億6,988万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を10億7,693万円、支出の予定額を24億8,880万円とし、取水施設整備事業、浄水施設整備事業、配給水施設整備事業などの建設改良費に14億8,593万円、企業債元金償還金7億287万円などを計上しております。

また、債務負担行為2件、企業債4件を計上しております。

### 〔病院事業会計〕

業務の予定量について、延べ患者数を入院11万8,561人、外来23万2,239人と定め、収益的収入の予定額を72億667万円、支出の予定額を81億8,201万円とし、単年度の純損失を9億7,534万円とするものであります。

医業収益については、前年度より3億4,870万円減の62億2,695万円、医業費用については、前年度より4,863万円増の76億1,806万円、特別損失として、固定資産除

却費 3 億 1,390 万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を 17 億 1,338 万円、支出の予定額を 17 億 6,838 万円とし、米谷病院建設事業や医療機器等整備事業、医療情報システム導入事業などの建設改良費 12 億 8,029 万円、医学生奨学金等貸付金 3,440 万円、企業債元金償還金など 4 億 5,369 万円を計上しております。

また、債務負担行為 10 件、企業債 3 件などを計上しております。

#### 〔老人保健施設事業会計〕

業務の予定量について、延べ利用者数を入所 2 万 4,888 人、通所 7,725 人、居宅 240 人と定め、収益的収入の予定額を 4 億 4,043 万円、支出の予定額を 4 億 4,672 万円とし、単年度の純損失を 629 万円とするものであります。

事業収益については、前年度より 1,454 万円増の 4 億 1,972 万円、事業費用については、前年度より 1,197 万円増の 4 億 3,348 万円を計上しております。

資本的収支では、収入及び支出の予定額をそれぞれ 5,229 万円とし、送迎用福祉車両購入などの建設改良費 1,175 万円、企業債元金償還金 4,054 万円を計上しております。

また、債務負担行為 4 件を計上しております。